

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
住 所 東京都港区芝公園1-5-25
氏 名 港区長 清家 愛

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1（1）アの規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			桂坂学童クラブ										
2	学童クラブの所在地			郵便番号	108-0074			住所	東京都港区高輪2-12-24 高輪桂坂ビル					
3	設置・運営形態			公 設 民 営										
4	設置主体	名称		港区										
		住所		郵便番号	105-8511			住所	東京都港区芝公園1-5-25					
		代表者		港区長 清家 愛										
5	運営主体	名称		ミアヘルサ株式会社										
		住所		郵便番号	162-0064			住所	東京都新宿区市谷仲之町3-19					
		代表者		代表取締役社長 青木 文恵										
6	学童クラブ事業開始年月			平成	27		年	4		月				
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	8		年	6		月				
8	支援単 位 ご と の 状 況 (※1)	桂坂学童 クラブ A	専用区画面積	クラブ室1	108.4		㎡	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)				3.10	㎡	
			児童数	35名										
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2		名	放課後児童支援員（非常勤）			1	名
				補助員（常勤）			0		名	補助員（非常勤）			2	名
9	開所時間	平日	放課後から		19:00		まで							
		土曜日・長期休業期間	8:00	から	19:00		まで ※土曜日は17:00まで							
10	国庫補助の有無			有										
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有										
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有										
13	長期休業期間中の昼食提供			有	夏季休業期間		35 (41)	日間提供 (夏季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (区市町村による手配)			
				有	冬季休業期間		8 (15)	日間提供 (冬季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (区市町村による手配)			
				有	春季休業期間		9 (11)	日間提供 (春季休業期間の全日数)		提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (区市町村による手配)			
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式2のとおり）											
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式2のとおり）											
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有		令和	8	年度	受審予定					
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）													
17	利用料	月額		3,000		円								
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)												

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、2支援単位目以降を第1号様式乙に記載ください。

第 1 号様式乙

支援単位名	支 援 単 位 ご と の 状 況										
桂坂児童クラブ B	専用区画面積	クラブ室 2	88	m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					2.75	m ²
	児童数	32	名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2	名	放課後児童支援員（非常勤）			1	名
		補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）			2	名
桂坂児童クラブ C	専用区画面積	クラブ室 3	82	m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					2.28	m ²
	児童数	36	名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2	名	放課後児童支援員（非常勤）			1	名
		補助員（常勤）			1	名	補助員（非常勤）			2	名
桂坂児童クラブ D	専用区画面積	クラブ室 4	83	m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					2.13	m ²
	児童数	39	名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2	名	放課後児童支援員（非常勤）			1	名
		補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）			2	名
桂坂児童クラブ E	専用区画面積	(部屋名)	81.3	m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					2.08	m ²
	児童数	39	名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			2	名	放課後児童支援員（非常勤）			1	名
		補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）			3	名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)						m ²
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)						m ²
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)						m ²
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)						m ²
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)						m ²
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）				名	放課後児童支援員（非常勤）				名
		補助員（常勤）				名	補助員（非常勤）				名

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
クラス制になっており各担任に相談をしたり、希望者は子ども面談にて相談の場を設けている。また日々の帰りの会にて子ども達の希望を聞く機会を設け、おやつやプログラムに繋げている。	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日		ブレイルूमにて学年別、遊び別に子ども達が日々、体を動かせる時間を設けられるよう設定している。
「製作活動等」	毎 日		廃材を利用した自由工作の準備をしており、自由時間に希望者は工作スペースにて制作を楽しんでいる。その他、工作やアトリエのプログラムも実施している。 また、高学年向けの制作活動も行っている。
「地域の文化等に触れる体験」	2	回	地域の学童や児童館と連携し、「たかなわあそび隊」を実施。3施設合同で交流プログラムを実施。 また、地域のお店のおやつを、学童クラブで提供したり、地域の清掃活動の他、地域の児童館祭りにブース参加させていただき、地域の方との交流を図っている。今後は史跡巡りというプログラムにて散歩しながら、地域を知る機会を設けていく。
「自主学習」	毎 日		主に宿題をする時間として設定している。高学年児童については、自主学習の時間にi Padの宿題にも取り組んでいる。
「児童の意見を反映させた行事」	48	回	意見箱の設置や始まりの会、帰りの会を通して、児童の関心や興味を持っていることを取り入れ、親子プログラム・スポーツチャレンジ・パティスリー桂坂・お楽しみ会・高輪台小校庭活動、高学年主体の工作プログラム等、プログラムの活性化を図っている。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----